

令和5年度周南市こども育成支援対策審議会(第7期第1回)会議録

日 時	令和5年8月4日(金) 14時00分～15時30分
場 所	周南市本庁舎5階 委員会室3
議 事	<p>議題</p> <p>1. 令和5年度の事業計画及び主要事業について</p> <p>2. 第2期周南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</p>
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員 10名 ※会議成立(欠席:倉益委員、山本委員) 竹下会長、兼重副会長、金子委員、木村委員、田中委員、秋重委員、河村委員、大野委員、加村委員、小林委員 ● 事務局 16名 こども・福祉部こども局 穴田局長 次世代政策課:綿野課長、徳田課長補佐、高木係長、岩岡主査、橋本 こども支援課:伊上次長、石田課長補佐、有福課長補佐、清水係長 あんしん子育て室:柿並室長、宮崎室長補佐、坂本係長、大上所長補佐 学校教育課:原田課長 生涯学習課:川上課長

会長・副会長選出

会長の選出について

- ・竹下委員より立候補あり。
- 意義なく、竹下委員に決定。

副会長の選出について

- ・立候補、推薦なし。
- 事務局より兼重委員を推薦。
- 意義なく、兼重委員に決定。

議題1 令和5年度の事業計画及び主要事業について

資料

令和5年度 周南市当初予算の概要(抜粋)(以下「資料1」という。)

◎会長 議題の件について、事務局から説明をお願いします。

□事務局 次世代政策課
資料1に基づき、婚活子育て応援事業、母子父子自立支援事業、乳幼

	<p>児医療費助成事業、こども医療費助成事業、こどもまんなか社会推進に係る庁内推進体制（こどもまんなか社会推進本部体制）について説明。</p>
○委員	<p>母子父子自立支援事業において、ひとり親家庭の相談件数が増加したとのことだが、オンライン相談の開始が影響しているのか。</p>
□事務局	<p>次世代政策課 オンライン相談は令和4年11月から導入しているが、それほど件数は上がっていない。令和4年度から母子・父子自立支援員に加え、就業支援専門員を配置し、相談体制が整ったことによる増と考える。</p>
○委員	<p>「地域がつながる子どもの居場所づくり支援補助金」は各地域で取り組む「夢プラン」の中でこども食堂を実施した場合、その活動も対象になるか。</p>
□事務局	<p>次世代政策課 地域で行われている子ども食堂の取組みは当補助金の対象となるが、補助金の交付については、山口県の子ども食堂登録制度の登録団体であるなどの要件を満たす必要がある。当補助金については、次世代政策課の窓口で個別に相談してほしい。</p>
□事務局	<p>こども支援課 資料1に基づき、保育所再編整備事業、保育対策総合支援事業、多子世帯保育料無償化事業、一時預かり事業の利用料の軽減について説明。</p>
	<p>質疑なし</p>
□事務局	<p>あんしん子育て室 資料1に基づき、子育て短期支援事業、子ども家庭総合支援拠点事業、子育て世代包括支援センター事業について説明</p>
○委員	<p>「子ども家庭総合拠点事業」の中の「発達支援のための医療的相談機能の強化」について、発達相談ができる医療機関に、具体的にどのようなつながっているのか伺いたい。</p>

□事務局	<p>あんしん子育て室</p> <p>もともと発達相談ができる医療機関がかかりつけの場合は、直接保護者から医師へ相談いただく、健診等の際に医師から保護者に受診を勧めていただく、保健センターに相談いただき、保健センターから紹介するなどの場合がある。また、定期的な療育が必要な場合等は、保健センターで意見書を作成し、児童発達支援という福祉サービスにつながることも行っている。</p>
○委員	<p>一人一人の状況にあったつなぎ先をきちんと検討されているということですね。ありがとうございます。</p>
○委員	<p>一時預かり事業（子育て短期支援事業の日帰りショートステイ）について、定員確保は十分にできているか。</p>
□事務局	<p>あんしん子育て室</p> <p>日帰りショートステイについては、多胎児家庭もしくは保護者の心身の病気の治療に伴い、日中の養育が困難な家庭を対象としている。1日1組ではあるが、ある程度の利用が見込めると考えている。</p>
□事務局	<p>学校教育課</p> <p>資料1に基づき、通学路安全対策事業、小中学校改修事業、GIGAスクール構想推進事業、やまぐち部活動改革推進事業、教員業務支援員配置事業、学校・家庭支援専門家配置事業について説明。</p>
○委員	<p>やまぐち部活動改革推進事業について、実際に部活動を地域に移行した時に、現在と同じような部活動の形を維持していくのか、それとも、やらない子はやらなくても良いという流れになるのか。</p>
□事務局	<p>学校教育課</p> <p>基本的には令和8年度から学校から部活動はなくなる。現在はその体制を整えている状況である。</p> <p>移行後は部活動という考え方がなくなるので、子どもたちが自分のやりたいことを選んで取り組む、今でいえば習い事に近いものになる。一つのことにはしっかり取り組む子も、複数のことに取り組む子も、興味を示さない子も出てくるという想定をしている。</p>
○委員	<p>部活動に係る費用負担は保護者の負担になるのか。</p>

□事務局	<p>学校教育課</p> <p>移行後は教育活動ではなくなり、保護者の判断によることになるので、基本的には受益者負担の考え方となる。ただ、中山間地域にお住まいの方や生活困窮世帯への支援については他課とも一緒になって考えていきたい。</p>
□事務局	<p>生涯学習課</p> <p>児童クラブ整備事業費について説明。</p>
	<p>質疑なし</p>
<p>議題2 第2期周南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</p>	
<p>資料</p> <p>第2期周南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況（以下「資料2」という。）</p>	
◎会長	<p>議題2について、事務局から説明をお願いします。</p>
□事務局	<p>こども支援課</p> <p>資料2により、教育保育施設の需要量及び確保方策、利用者支援事業、一時預かり事業、延長保育事業、病児保育事業、実費徴収に係る補足給付を行う事業について取組状況等を説明。</p>
○委員	<p>中山間地域に住んでおり、須々万幼稚園と関わりがある。子どもは少なくなってきたが、一人一人に目が行き届いているからか、子どもたちがしっかりしてきているように感じている。</p> <p>保護者からは入りたい保育園に入れないという話や、一時預かりについても、なかなか預かっただけないという話を聞く。</p> <p>幼稚園では子育て支援という形で月に2回、未就園児が園児と一緒に遊ぶ時間を設けており、子どもが幼稚園に入りやすくなっている。</p> <p>日々の活動の中で、全体的に子どもの数が少なくなっていると感じるが、北部の拠点も整備予定であり、こども園が活発になればいいなど思っている。</p> <p>保護者からは、子どもたちがしっかり遊べる場所が欲しいという声もあり、保護者が安心できる場所を確保してあげたいと思っている。</p>
□事務局	<p>あんしん子育て室</p> <p>資料2により、利用者支援事業、地域子育て支援拠点事業、妊婦健康診査、乳児家庭全戸訪問事業、出産・子育て応援事業、養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業、子育て短期支援</p>

	事業、子育て援助活動支援事業について取組状況等を説明。
	質疑なし。
□事務局	<u>生涯学習課</u> 資料2により、放課後児童健全育成事業について取組状況等を説明。
○委員	児童クラブについて、小学校4年生のいる家庭から聞いた話だが、3年生までは児童クラブを利用できたが、4年生になると定員オーバーで利用できず、他の地区の児童クラブなら利用できると言われたとのことだった。3、4年生はまだ一人で過ごすには不安な年齢だと考える。そのあたりを今後の対策としてご対応いただけたらと思う。 また、この進捗状況の評価の中では、適切な運営を実施できているということであったが、教育・保育の提供区域のように、都市地域、都市周辺地域、中山間地域の3つに分けて考えた場合に、需要量が確保できているのか、細かい部分まで分析いただき、ご対応いただけたらと思う。
その他	
◎会長	事務局からその他、何かあればお願いします。
□事務局	特になし
◎会長	委員から、ご意見、ご質問があればお願いします。
○委員	小中学校について、最近、学校施設の草などの管理が非常に難しくなっていると感じている。業務支援員の配置はされているが、それだけでは間に合わないと思う。常駐するほどではないと思うが、業者などに季節的な補助をお願いしますなど、学校の実情に応じて方策を考えると、先生が子どもたちに向かう時間がより増えるのではないかと思う。ご検討いただきたい。
◎会長	他にご意見、ご質問があればお願いします。 ご質問やご意見がないようであれば、終了する。 事務局へお返しする。
□事務局	様々な貴重な意見をいただいた。引き続きご協力をよろしくお願ひしたい。